

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1)担当支部:	広島支部	(2)記載者氏名	鈴木 康仁	会員番号:	4631	事務局整理記入欄	広島 - 040
分水嶺区分	W426竜王山, W428～W427, W429～W430			(3)山行日:	2004年	7月	28日 (4)天候 晴

(5)参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

鈴木 康仁	4631						
三好 勇	13595						
		計		2名		計	名

(6)山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	W426(往復)、W428～W427(本地点より引き返す)、才の峠～W430(本地点より引き返す)												
アプローチ:	福山～三和町～神石町(寺谷)～志俵～寒峠～才の峠～上下町～福山												
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	寺谷林道車道終点	高蓋	133	10	14.8	34	44	54.1	581		9:45		(8)
分水嶺到達点	地形図 736m	高蓋	133	10	4.75	34	44	52.94	736	10:45	10:45	B-3	
W426	龍王山	高蓋	133	9	56.8	34	45	9.3	770	11:05	11:15	B-3	(10)
	(来た道を引き返す)												
分水嶺離別点	地形図 736m	高蓋	133	10	4.75	34	44	52.94	736			B-3	
歩行終了点	寺谷林道車道終点	高蓋	133	10	14.8	34	44	54.1	581	11:50			
	(車でW428志俵へ移動)												
分水嶺到達点W428	志俵	高蓋	133	9	48.3	34	44	4.7	554	13:00	13:05		(8)
W427	593.6m峰	高蓋	133	9	55.6	34	44	14.3	587	13:35	13:45	B-3	(10)
	(来た道を引き返す)												
分水嶺離別点W428	志俵	高蓋	133	9	48.3	34	44	4.7	554	14:05			
	(車でW429へ移動)												
分水嶺点 W429	寒峠	高蓋	133	9	27.1	34	42	48.7	514	14:30	14:35		(8), (9)
	(車で才の峠へ移動)												
分水嶺到達点	才の峠	高蓋	133	8	56.4	34	42	24.3	514	14:40	14:50		(8)
W430	栗山	高蓋	133	9	3.7	34	42	33.6	623	15:40	15:50	B-3	(9), (10)
分水嶺離別点	才の峠	高蓋	133	8	56.4	34	42	24.3	514	16:20			
歩行終了点	才の峠	高蓋											
												総歩行時間(休憩時間を除く):	3時間55分

(7)三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項
W426	龍王山	3	真南	良	視界なし
W427	593.6m峰	4	真南	良	視界なし
W430	栗山	2	東145度	良	視界なし GPSの測定がやっと出来る

(8)人工施設の現況および地形図との相違点

W428は県道25号線で北側に標識があり西江の川東高梁河
W429寒峠は町道 小堀～河井線で西側に看板有り 南あしだか北号の川
才の峠は県道27号線でポイントの北側に立派な石碑がある西日本海 東瀬戸内海

(9)水および植生に関連した特記事項

W429 586.9m峰は分水嶺でないので抹消。西北西1200m地点をW429寒峠として新設する。
W430 565.1m峰は分水嶺でないので抹消。北北西1100m地点を W430栗山として新設する。

(10)その他の特記事項

W426の登りは林道終点より北西にある小さな尾根をがむしゃらに分水嶺まで登り、頂上にたどり着く。
W427の登りは、W428より分水嶺の道なき道をたどる。
W430の登りは、才の峠よりW430の東側を巻いている林道を600m位たどり東側より直登する。

(11)写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明:
W429:寒峠
W430A:才の峠の分水嶺石碑